

2019年度 自給教室入会（進級）申込書

(ふりがな) _____

申込年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 氏名 _____
※家族会員の場合は、代表者名をご記入ください。

住所：〒 _____ 性別：(男 女)

電話： _____ PCメールアドレス： _____

携帯： _____ 携帯メールアドレス： _____

【緊急時連絡先】※ 必ず記入してください。

電話： _____ 続柄： _____

教室からの連絡の受け取り方法の選択 (○を付けてください)

⇒ (Facebook ・ LINE ・ Eメール ・ アメブロ)

◆ _____ 校希望

神崎本校：毎月第2、4日曜日、成田校：第1、3日曜日

物井校：第2、4土曜日

会員の種類： _____ 会員（代表者）※次ページから選択

栽培希望品種： _____ ※下記から選択

【お米の品種】

- ① コシヒカリ・・・高食味、玄米食推奨、中生（なかくて）※上級生向き
- ② いのちの粳・・・多収穫、高食味、白米食推奨、晩生（おくて）※一年生向き
- ③ ササニシキ・・・高食味、玄米食推奨、サラサラ、早生（わせ）※上級生向き
- ④ 黒米（朝紫）・・・低収量、古代米、もち米、ハーベスタ使用不可 ※資格審査あり
- ⑤ 緑米（おそらく緑万葉）・・・11月収穫、古代米、もち米、高食味

年齢：(_____ 歳) ※栄養価計算に必要となります。

◇1日当たりのお米の摂取量 (_____ g)

◇1日当たりの小麦の摂取量 (_____ g)

※栄養価計算につきましては1年生は必修としますが、2年生以上は希望者のみです。

同意書

1. 自給教室募集要項および規約を熟読しよく理解した上で、これらを遵守する。
2. 自給教室募集要項および規約の内容は、教室の改善を目的として適宜変更することをあらかじめ了承する。

上記項目に同意した上で自給教室に入会（進級）を希望する場合のみ、署名してください。

同意年月日： _____ 年 ____ 月 ____ 日

署名 _____ (フルネームで)

家族、友人を自給教室の活動に参加させたい場合には、事前にそれらの方々に対して上記1、2の同意事項の説明をして同意を得た上で、すべての方々の氏名・性別を校長に提出してください。届け出が無い場合は、自給教室の活動に参加することはできません。

氏名 _____ (男 女)、氏名 _____ (男 女)

氏名 _____ (男 女)、氏名 _____ (男 女)

氏名 _____ (男 女)、氏名 _____ (男 女)

氏名 _____ (男 女)、氏名 _____ (男 女)

氏名 _____ (男 女)、氏名 _____ (男 女)

＜2019年度 自給教室募集要項＞

会員の種類	農地面積	内 容	年会費
10㎡正会員 (1年生)	10㎡ or 20㎡	講義全6回(12月①②、1月③④、2月⑤、3月⑥) お米約12kg(配当米8kg+自給田んぼ収穫物約4kg) 自給畑収穫物+味噌(全員)+豆腐(配布日出席者のみ) (以下、畑・味噌・豆腐と略す) ※鎌、鍬は貸し出します。収穫時のひも、米袋も配布します。	36,000円
100㎡正会員 (2年生、経験者、農家コース)	100㎡	収穫できた分+畑・味噌・豆腐 ※2年生以降は、マイ鎌、マイ鍬持参です。収穫時のひも、米袋も各自でご用意ください。	24,000円
20キロ正会員 (2年生以上)	10㎡ or 20㎡	収穫できた分+お米20キロ+畑・味噌・豆腐	
200㎡正会員 (3年生以上)	200㎡	収穫できた分+畑・味噌・豆腐	
300㎡正会員 (3年生以上)	300㎡	収穫できた分+畑・味噌・豆腐 ※300㎡会員さんからは、マイ刈払機持参です。	
家族会員 (同居家族)	10㎡	収穫できた分	0円
農家コース 正会員 (2年生以上)	300㎡ ～ 600㎡	収穫できた分+畑・味噌・豆腐 ※翌年の種もみを10キロ、教室に提供してください。 ※小型農機具(田植機、バインダー)を使用する場合は、各自で用意。 ※ハーベスタ、籾摺機、精米機は教室のものを使用できます。	48,000円
	600㎡超 ～ 1000㎡	収穫できた分+畑・味噌・豆腐 ※翌年の種もみを20キロ、教室に提供してください。 ※小型農機具(田植機、バインダー、ハーベスタ)を使用する場合は、各自で用意。※ハーベスタは3年以内に用意。 ※籾摺機、精米機は教室のものを使用できます。	
	1000㎡ 超	収穫できた分+畑・味噌・豆腐 ※翌年の種もみを30キロ、教室に提供して下さい。 ※地代、苗代など、必要経費に相当する代金はすべてお支払い下さい。 ※すべての農機具、農機具置き場も段階的に各自で用意して下さい。	

【共同区画管理について】

毎月2回の共同作業日の午前中は、共同区画管理です。共同区画では、地主さんに納める年貢米、翌年の種もみ用のお米、1年生配当米、教室運転資金用米などを栽培します。なるべく参加してください。共同作業日に参加できない方は、臨時作業日に応援を募集していますので、そちらに参加してください。

【遅刻・早退・欠席について】

遅刻・早退・欠席は自由です。ただし、すべて休んで構わないという意味ではありません。休んだ分だけ他の会員の農作業負担が増えます。特に、「種まき作業」や、稲を干すための竹を組む「おだ組み作業」につきましては、欠席すると他の会員の負担が非常に大きくなりますので、必ず参加するようにしてください。

【畑作物について】

種用の小麦、および、種・味噌・豆腐用の大豆は共同区画で栽培します。それ以外に個人区画で栽培も可能(種は各自で購入)です。また、イモ類、野菜類につきましては、午後の自由時間に畑を活用して各自行って下さい。会員相互の交流促進のため、収穫物は8割を持ち帰り、2割を他の会員さんにプレゼントでお願いします。

【会費の支払いについて】

◇新規の方は入会后1カ月以内、継続の方は前年度の12月末日までにお振り込みをお願いします。会費の振り込みが遅れますと、農地の確保ができなくなりますので、遅滞なくお願いいたします。

振込先：【みずほ銀行】 成田支店 普通 2339856 特定非営利活動法人日本自給教室
 【ゆうちょ銀行】 10550 92619621 特定非営利活動法人日本自給教室
 他行からゆうちょ銀行へは、〇五八支店 普通 9261962

お問い合わせ先：jikyukyositu@yahoo.co.jp 090-9103-6033 齋藤

- 自給教室では会員本人及びその同伴者の農作業中のけが・事故・盗難などの補償は一切できません。
- 他の会員に対する物品販売（自給教室収穫物を除く）、宗教的勧誘、政治的勧誘、その他本人の意思に反する強制的な行為は迷惑行為として禁止します。
- 自給教室は、特定農地貸付法に基づく「オーナー制度」を採用しています。自給教室の会員は、教室から農地を借りているのではなく、「教室の農地で収穫できた農作物を受け取る権利を有する」というものです。会員は農地での農業体験をすることができますが、農地を借りているわけではないことをご了承ください。
- 会費は作物の収穫量を保障するものではありません。
- 田んぼの管理は畦の除草管理や畦の補修管理も含まれます。
- 前年度に農地管理が十分に行えなかった場合、また、共同作業日の参加日数が著しく少なかった場合は翌年度200㎡以上の大区画会員へのお申し込みは控えてください。100㎡以下、もしくは20キロ会員への変更をお願いいたします。
- 農薬の使用は禁止、化学肥料は畑での使用のみ許可制とします。無断で使用しないでください。
- 2年生以上の上級生会員の年会費には道具の貸出は含まれません。鎌、米袋、稲刈り時に必要な紐などはご自身で用意していただきます。また、畑を利用する方は鍬、300㎡以上の田んぼを管理する方は刈払機の購入をお願いします。（刈払機を使用しない場合は鎌による除草をお願いします。）
- 共同区画では自給教室の運営資金になるお米や地主さんに納める年貢米を作ります。作業の積極的な参加をお願いします。
- 自給教室の農地または建物での個人のセミナーなどの開催（自給教室から依頼のものは除く）は禁止とさせていただきます。
- 上級生の100㎡以上の方は、種まき、田植え、除草、稲刈りに限り会員外の方を参加させることができます。会員外の方がそれ以外の作業に参加を希望する場合は正会員への入会をお願いします。また、会員外の方の作業参加には事前に同意書への署名をお願いします。
- 刈払機を使用する際は、必ずゴーグルまたは眼鏡の着用をお願いします。初めて刈払機を使用する方は刈払機利用の仕方（別紙資料）を読んでからの使用をお願いします。
- 3千円友人会員の新規募集は2017年度までで廃止としました。現在登録の3千円友人会員の方につきましては2020年度までを限度とし、2021年度以降の継続は正会員への移行をお願いします。
- 動力付き機械（もみすり機、ハーベスタ、精米機など）は要予約です。故障や詰まりなどがあった場合速やかに連絡してください。
- 黒米を作付希望の方は苗管理から脱穀までの一連の作業に厳重な管理をお願いします。黒米はハーベスタ、籾摺り機など白米用の機械に混入した場合、他の会員に大きな損害を与えます。万が一白米用の機械類に黒米を混ぜた場合は翌年の黒米の作付は継続不可とさせていただきます。
- 種まき（3月）、竹の切り出しおよびおだ組み（7、8月）は必ず参加をお願いします。
おだ組みを自身で行わない場合、他の会員の方の組んだおだに稲をかけることになり、おだを組んだ方の場所が足りなくなります。また他の会員の負担も増大します。最低限ご自身のおだ干しで必要とするおだは組んでください。
- 畑を利用する場合必ず事前に申し込みをお願いします。できた作物から8割持ち帰り可、2割を教室内で分配してください。
- キャンセルポリシー
- 担当の農地が決定し、田植えの適期（5月）を過ぎた6月1日以降のキャンセルは返金できません。
- 参加資格は入会月に関わらず翌年の3月までとし、継続の申し込みが無い場合は退会または休会とします。

※名簿は個人情報保護法に基づき厳格に管理いたします。